

COVID-19 感染症流行期における肺癌診療について[日本肺癌学会]

https://www.haigan.gr.jp/modules/secretariat/index.php?content_id=47

https://www.haigan.gr.jp/uploads/files/JLCS_COVID-19%20ステートメント_V1_1_20200723.pdf

日本肺癌学会では、施設の医療資源の逼迫状況と重症度・緊急性・代替治療の有無・治療効果の観点から手術のトリアージが示されています。感染状況と施設の状況を踏まえて参考にしてください。また肺癌診療の実態調査結果が発表されています。手術を含む全ての治療モダリティで前年より減少しています。患者の受診行動や施設の制限など要因分析が必要だと考えています。

理事長 吉野一郎